PRESS RELEASE

北海道公立大学法人
札幌医科大学
https://web.sapmed.ac.jp/

報道発表資料の配付日時　2020 年　8 月　4 日（火）14 時30 分

札幌医科大学医学部　公衆衛生学講座
中・小・幼・保での
新型コロナウイルス感染症対策支援プロジェクト開始！

「地域で子ども達を守ろう！　新型コロナウイルス撃退大作戦」
～手洗い徹底活動プロジェクト　&　情報共有できる仲間づくり～

札幌医科大学医学部公衆衛生学講座（教授：大西浩文、プロジェクトリーダー：大浦麻絵）は、令和２年（2020年）７月２９日から**「地域で子ども達を守ろう！　新型コロナウイルス撃退大作戦」**を開始します。

本プロジェクトを通じて、三密になりがちな教育現場での感染予防・感染拡大防止に貢献すると共に、新型コロナウイルス感染症予防に関する予防啓発・情報共有活動に取り組んで参ります。

＜プロジェクト概要①「手洗い徹底活動プロジェクト」について＞

〇中学校・小学校・幼稚園・保育園での一年間の徹底した手洗い活動の実施

子どもたち一人ひとりが意識し徹底して行う手洗い活動は、大きな予防策になりうると考えられます。そこで札幌市内の中学校、小学校、幼稚園、保育園にてモデル校を選出し、一年間徹底的な手洗い活動を行っていただき、そのために必要な泡石鹸を一年間配給する公衆衛生活動を実施することをプロジェクトの第一の目的とします。（「手洗い徹底活動プロジェクト」の活動説明書・参照）

＜プロジェクト概要②「情報共有できる仲間づくり」について＞

〇教育現場での感染予防の情報共有、予防啓発活動の推進

公衆衛生活動の中で得られる情報や教材、支援の輪などを共有・繋ぐための仲間づくり（Social-capital）をプロジェクト第二の目的とします。学校に限らず児童会館、まちづくりセンターなど、子ども達が集う施設様にも参加を検討いただきたいです。

最終的には、当プロジェクトが提供する情報などを元に、子ども達自身が予防啓蒙に積極的に取り組み、自分達で手洗いや感染予防のポスター・川柳などを作成して、市民に健康情報を発信してもらいます。子ども達が助けてもらいっぱなしではなく、自分にできることを行い、社会にお返しするシステム構築を目指し取り組んでいきます。（「集団生活における子ども達の自立した新しい生活様式と衛生活動変容への取り組み」活動説明書・参照）

＜支援の募集＞

本活動にご興味ある方、また活動にご賛同下さる個人・団体の皆様に、広くご支援・ご寄付を募集しています。皆さまからの温かいご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。（連絡先は下記と同じ）

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

札幌医科大学医学部公衆衛生学・助教　大浦　麻絵（Asae　OURA）
電話：０１１－６１１－２１１１（内線２７４１０）　FAX：０１１－６８８－９５８５
E-mail：aoura★sapmed.ac.jp　　★を@に変えて送信してください

手洗い徹底活動プロジェクト

背景と目的:

2020年新型コロナウイルスの世界的流行により、我々は新しい生活様式に移行した。特に教育現場は大きな緊張感の中、手探りの運用がなされている。密になりやすい状況であること、教員一人ひとりの努力だけでは限界があることなどを鑑みると、学校・教員側の負担を増大させていくのではなく子ども側の努力を生かせる場の設定が不可欠であろう。特に子どもたち一人ひとりが意識し徹底して行う手洗い活動は施設にとり大きな予防策となりうると考えられる。しかし各学校の衛生活動は独自な場合、学校予算配分の中に委ねられており、また固形石鹸よりも泡石鹸のほうが子どもたちの手洗い活動が行われやすいことなどが現場では把握されつつも、十分な行動変容効果検証がなされていない現状がある。そこで手洗い指導・活動を徹底的にしてもらうモデル校を選出し、一年間徹底的活動を行うために必要な泡石鹸を配給する公衆衛生活動戦略を実施することをプロジェクトの目的とする。

対象施設:

以下、施設のプロジェクト参画承諾は得ている。

- 札幌市立二条小学校(児童数:約600人)
- 札幌市立西園小学校(児童数:約500人)
- 札幌市立円山小学校(児童数:約900人)
- 札幌市立南月寒小学校(児童数:約750人)
- 札幌市立伏見小学校(児童数:約750人)
- 札幌市立啓明中学校(生徒数:約900人)
- 札幌白樺幼稚園(園児数:約400人)
- 青葉興正保育園(園児数:約140人)

方法:

- 各学校、施設の子どもたちが利用する手洗い場に泡石鹸を設置してもらう。尚、原液は薄めないで利用してもらう。施設側は手洗いをこまめに指導することを努力することとする。
- プロジェクトチームは子ども達の手洗い促進のために役立つ教育ツールなどを提供し、施設の手洗い活動を助力する。最終的には、当プロジェクトが提供する情報などを元に、子ども達自身が予防啓発として手洗いや感染予防のポスター・川柳などを作成して、市民に健康情報を発信してもらい、子ども達自ら感染症拡大防止の役割を担う社会システム構築を目指す。
- 2021年3月末まではプロジェクトチームから各施設へ補充分供給する。
- 本プロジェクトはオレンジ基金、2020 年度札幌医科大学学術振興事業の助成を受けて行われる。株式会社　花王より、プロジェクトで使う一部の泡石鹸の提供を受けた。OM リサーチ&コンサルティング株式会社より本プロジェクトへの寄付金助成を得た。

プロジェクトチーム:

大浦　麻絵(札幌医科大学医学部公衆衛生学・助教)(プロジェクトリーダー)

大西　浩文(札幌医科大学医学部公衆衛生学・教授)

小山　雅之(札幌医科大学医学部公衆衛生学・助教)

森　　満(札幌医科大宅医学部公衆衛生学・名誉教授)

長多　好恵(札幌医科大学医学部公衆衛生学・訪問研究員)

長谷川　準子(札幌医科大学医学部公衆衛生学・訪問研究員)

助友　裕子(日本女子体育大学・教授)

連絡先:大浦　麻絵(おおうら　あさえ)

***　現在テレワーク中。メールもしくは折り返しの電話対応となります　***

札幌医科大学医学部公衆衛生学　電話:011－611-2111(内線 27410)　mail: aoura@sapmed.ac.jp

集団生活における子ども達の自立した新しい生活様式と衛生活動変容への取り組み：
情報共有と仲間づくり

概要： Covid-19（新型コロナウイルス）は現時点では未知なるウイルスであり、未だ特効薬やワクチンなどが存在しない。このような状況で、特に「密」になりやすい集団生活を営む学校や園においては一人ひとりの予防行動が重要となる。我が国では学校、幼稚園、保育園においての生活様式には、ソーシャルディスタンス（社会的距離）など新たな常識が加わったが、認知、理解に個人差が散見されている。本プロジェクトでは集団として共通認識を持ってもらい、自立した予防実践に結び付くこと、助け合いの輪を広げた仲間づくりを目的とした公衆衛生活動を行う。

対象と方法：

- その時点での最新の Covid-19 予防法をまとめた予防啓発ポスターを作成し、無料配布する（第 1 回目ポスター・配布中）。但し、Covid-19 は情報が日進月歩の速さでアップデートしており今後常識が変化する可能性がある。そのため、情報のアップデートを確実に行うことは非常に重要となる。以上より、情報提供を希望する施設は下記、プロジェクト事務局まで申し込みしてもらう。参加施設についての制限はない。また情報のインターネット、SNS 等への転載は禁止とする。
- 我々は最終的には、我々の情報などを基に子ども達自身がポスターを作成することを期待している。もし、子どもたち、教職員の先生などが主体となって作成を希望する場合には研究班で内容等の監修など助力できると考えている。（是非、前向きに取り組みを検討され、ご遠慮なくご相談ください。例えば教職員向けのポスターについても見本作成してあります）
- 別プロジェクト「手洗い徹底活動プロジェクト」への参加については、今年度は既に締め切った。しかし、例えば施設として泡石鹸を安定的に購入したいなど希望する施設がある場合、例えば研究協力を得ている会社や団体・担当者に繋いだりすることは可能である。また、予防啓発用の図書の紹介、貸出など、これまで培った研究班の持つ知見が施設運営への助力ができることがあるのではないかと考えている。お困りのことがあれば、ご遠慮なくご相談ください。
- ある時点で、今後どのような助力を求めているか、お尋ねしたいと考えている。ご期待に沿えない場合も少なくないかもしれないが、子ども達を守るために、そして日々尽力してくれている教職員の先生を支えるために出来る限りの力になりたいと考えている。
- 本プロジェクトはオレンジ基金、2020 年度札幌医科大学学術振興事業の助成を受けて行われる。花王よりハンドクリーム等、物品の寄付を受けた。

プロジェクトチーム（学童における感染症予防教育研究班）：

札幌医科大学医学部公衆衛生学・助教　大浦　麻絵（プロジェクトリーダー）
札幌医科大学医学部公衆衛生学・教授　大西　浩文
札幌医科大学医学部公衆衛生学・助教　小山　雅之
札幌医科大学医学部公衆衛生学・名誉教授　森　満
札幌医科大学医学部公衆衛生学・訪問研究員　長多　好恵
札幌医科大学医学部公衆衛生学・訪問研究員　長谷川　準子
日本女子体育大学・教授　助友　裕子

テレワークしています。
出来れば FAX、メールで
お問い合わせください。

連絡先：大浦　麻絵（おおうら　あさえ）
札幌医科大学医学部公衆衛生学・助教
札幌市中央区南 1 条西 17 丁目　電話：011－611-2111　内線 27410　FAX:011－688-9585
Emai;　aoura@sapmed.ac.jp

手洗い徹底活動プロジェクト

一人
ひとりが
できることを

後援：札幌市（予定）、札幌市教育委員会（予定）

お問い合わせ先：学童における感染症予防教育研究班（札幌医科大学医学部公衆衛生学　内）電話：011-611-2111　内線27410

この活動はオレンジ基金、2020年度札幌医科大学学術振興事業から活動助成を受けて行われます。OMリサーチ＆コンサルティングより寄付金助成を受けた。株式会社花王より泡石鹸とノベルティの提供を受けた。